

稲門フィラテリー 20 周年記念切手展作品解説

会期：2021 年 11 月 12 日(金)~14 日(日)

会場：切手の博物館 3F スペース 1・2



ごあいさつ

稲門フィラテリー 会長 青柳次男

稲門フィラテリー 20 周年記念切手展にご来場頂きありがとうございます。当会は、「早大切手研究会」の卒業生と郵趣に興味を持つ方達を中心に、2000 年に発足した郵趣団体で、現会員数は約 90 人です。当会の主な活動は、会報誌『稲門フィラテリー』の発行（年 4 回：現在 81 号）、新宿北郵便局のご協力による一般向け「切手教室」の開催（月 1 回：現在 152 回）と、同郵便局での常設切手展の開催（3 カ月ごと：現在 52 回）、そして、町田市での小中学生向け出張切手教室などです。これらの活動により、本年公益財団法人日本郵趣協会から「郵趣活動賞」を受賞いたしました。

当切手展は、昨年開催を予定しておりましたが、コロナの関係で延期し、今般、規模を縮小して開催の運びとなりました。展示作品は、今夏の PhilaNippon'21 での受賞作の抜粋版、PC 画像切手収集、鉄道切符収集など、多種多様ですが、お楽しみいただき、貴重なご意見を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



展示作品一覧

	出品者	タイトル
①		稲門フィラテリー紹介
②	池澤 克就	都の西北 早稲田大学 125 年の歩み
③	西村 寿一郎	香港
④	伊藤 和紘	マイコレクションから
⑤	稲葉 良一	満州における日本の郵便活動
⑥	山田 厚二	ドイツ普通切手のゲルマニアシリーズ (1900 年~1922 年)
⑦	小林 彰	横浜外国人居留地発着書簡
⑧	鎌倉 達敏	明治の東京・深川 郵便局ぶらり散歩
⑨	井上 武志	みちのく仙台の郵便
⑩	小川 義博	後期高齢者の切手収集
⑪	荒木 寛隆	リトアニアの X'mas 郵便 1994~2020 年
⑫	和田 文明	米国郵政の公用業務航空郵便史 1911~45 年
⑬	榎澤 祐一	Slovenia 1919~1920, the First Issue
⑭	青柳 次男	西独寄付金付き切手 1960~1973 年

『稲門フラテリーのあゆみ』の展示



①稲門フィラテリー紹介

稲門フィラテリーでは、大学とタイアップした企画や大隈講堂切手の発行にあわせた展示などを行ってきました。会の発足から20年の歩みをご紹介します。

②都の西北 早稲田大学 125年のあゆみ

池澤克就

この作品は、早稲田大学にゆかりのある大隈重信、高田早苗、坪内逍遙、會津八一、相馬御風などの直筆書簡を中心に、創立当時の地図や大学が発信した郵便物、大正時代の試験問題などさまざまな資料を用いて大学の歴史を表現したものです。1882年に東京専門学校として始まった早稲田大学は2007年に創立125周年を迎えました。その節目に合わせて作成し、JAPEXや全国切手展のオープン部門に出品してきた5フレームの作品を、今回の展示に合わせて4フレームに再構成しました。

③香港

西村寿一郎

阿片戦争の結果、広東条約(1842)により、清国は香港(香港島)を英国に割譲した。英国は香港を極東貿易の拠点とし、同年英本国郵政総局直営の郵便局を設け、1862年12月8日ビクトリア女王肖像入りの切手7種が発行された。

1901年エドワード7世が即位、切手は引き続き女王像のものが使われ、1903年にエドワード7世に変更された。その後、1912年にはジョージ5に、1937年にはジョージ6世の切手になり、1953年6月2日にクイーンエリザベスII世が即位し、普通切手もエリザベス女王の肖像となって中国返還まで

続いた。本作品では1990年6月30日の中国返還までの普通切手を展示した。

④マイコレクションから

伊藤和紘

永年切手を収集してきたが特定の切手やジャンルに偏らず、幅広く収集することが好きだった。20周年記念切手展を機に切手人生を振り返り、主観と好みでマテリアルを選別して私の切手と収集の楽しみ方を表現してみた。

最初は「速達便アラカルト」で速達配達区域外郵便から現行速達便までを、次いで昭和39年の東京オリンピック直前に完成した「新幹線」関連マテリアルを、そして最後に郵趣品ではないが稲門フィラテリー切手展に相応しい「早稲田大学関連」マテリアルをご覧いただきたい。

⑤満州における日本の郵便活動

稲葉良一

満州は19世紀後半から、清国(中華)、ロシア、日本の郵便が進出し、郵便においても複雑な関係にありました。この作品は、日露戦争から昭和20年までの、満州における日本の郵便活動の部分を抜粋した作品です。

⑥ドイツ普通切手のゲルマニアシリーズ

(1900年～1922年)

山田厚二

ドイツ普通切手のゲルマニアシリーズを1900年発行の国名表示REICHS POSTから1922年発行の波型透かしまでを、製造面、使用面について抜粋してまとめました。在外局、属領、占領地での発行分は含んでいませ

ん。ただし、無加刷切手の、それらの地域での使用例は対象としています。製造面では、ビネタバイセクト、使用面では、横浜海軍郵便局、第一次大戦後の領土割譲地域での使用例などに注目してください。

⑦横浜外国人居留地発着書簡

小林彰

1858 (安政5)年、幕府は米蘭露英仏と相次いで通商条約を締結。この条約により、横浜、長崎、函館、神戸と新潟の5港で自由貿易が認められた。自由と言っても条約国に借地、住居、営業権が許可されるのは開港場の一定地域に限定された。この地域を居留地と言う。横浜居留地は当初、山下町一帯に限られていた。なお、山下町居留地には一番から百七十七番までの地番が存在した。

⑧明治の東京・深川 郵便局ぶらり散歩

鎌倉達敏

明治年代、東京深川には、16の郵便局が存在しました。各局から発信された郵便物は、全国に残されており、明治時代の使用例を紹介します。一方、郵便局自体は、各局の変遷、関東大震災及び東京大空襲により、かつて所在した場所には、存在しません。そこで、明治時代の地図をたよりに、現代地図と照合しながら、かつて郵便局が存在した場所をめぐる「郵便局ぶらり散歩」をする事にしました。現在の周辺の状況を写真で伝えながら、新旧名所・旧跡もまわることにします。

⑨みちのく仙台の郵便

井上武志

50年以上収集しました郷里仙台の郵便資料を紹介します。私家本「みちのく仙台の郵便史」として一昨年発刊して、仙台市民図書館や小中学校に配布しました。特に郵便の現業の方から大変感謝されました。いわゆる駄

物でもこうした発展ができるという例示です。

⑩後期高齢者の切手収集

小川義博

切手収集環境が毎日が日曜日、年金生活、老眼進行、記憶力低下、切手終活意識等になり、切手スキャン画像を楽しむことになった。ネットの切手画像も一緒にズーム操作で切手をゆったりと鑑賞し、画像と文字情報でDATABASEをつくり、分類、並び替え、クロス整理等で切手を集合体として扱うことにより、知り得なかったことを知り新たな切手収集法・バーチャル切手収集を楽しんでいる。その一部を展示する。

⑪リトアニアのX'mas 郵便

1994-2020年

荒木寛隆

リトアニアは敬虔なカトリック教徒が国民の80%を占める典型的なキリスト教国ですが1990年に再独立するまでの約50年間はキリスト教の祝日を祝うことが出来ませんでした。1994年12月に初めてクリスマス切手を発行し、翌年からは年賀切手も発行するようになりました。当初はキリスト教色の強い切手が多かったのですが次第に西欧並みのクリスマス図案となりました。変化に富んだ美しいクリスマス切手とカシェ図案の変遷もお楽しみ下さい。

⑫米国郵政の公用業務航空郵便史

1911~45年

和田文明

米国郵政庁は、1910年から16年にかけて試行的なパイオニアフライトを実施のち、1918年5月15日にニューヨーク・フィラデルフィア・ワシントンの間で航空郵便サービスを正式に開始しました。

本コレクションは、航空郵便史上興味深い航空事故による”クラッシュ郵便物”に関する公用業務航空郵便、公用業務書留航空郵便、公用業務速達航空郵便、公用業務国際航空郵便、1938年の航空郵便20周年キャンペーン(Air Mail Week)、郵政庁の航空郵便の担当部局であるエアメール・サービスの部局の公用業務航空郵便など、1945年までの米国郵政庁と郵便局の公用業務航空郵便の様々なスタイルとフォーマットの変遷を表示しています。

⑬ Slovenia 1919-1920, the First Issue

榎澤祐一

CHINA2019に出品した作品を改変したものです。チェーンブレイカーと呼ばれる切手はスロベニアとチェコのものがありますが、この作品はスロベニアのチェーンブレイカーです。フレームの限りがあるため、最初の3フレームまでの展示となります。

日本でも変種探しの点で馴染み深い切手と聞きますが、ネットを介して現地の郵趣家と

の情報交換やアイテムの売買ができるようになり、プルーフやエッセイ、オーストリアの占領地使用例など、現地の人が見ても興味深いアイテムを入手できるようになりました。

また、社会主義で経済停滞していた頃とは違い、経済成長に伴い、日本で言えば80年代の手彫切手の市場のように珍しいモノから売れていく状況で、人気が上がってきていることを感じます。

⑭西独寄付金付き切手 1960-1973年

青柳次男

高校時代、外国切手欲しさに、海外と文通していた。西独ミュンヘン近郊に住むペンフレンドは、頻繁に切手を送ってくれた。しかし、日本の湿度で直ぐにくっついてしまうので、切手を金物の箱に仕舞うことにした。そして、そのことをすっかり忘れてしまった。先日、数十年ぶりに箱を開けてみた。箱の中は、惨憺たる有様。その中から、1960年代、70年代の寄付金付き切手を整理してみた。

小型印について

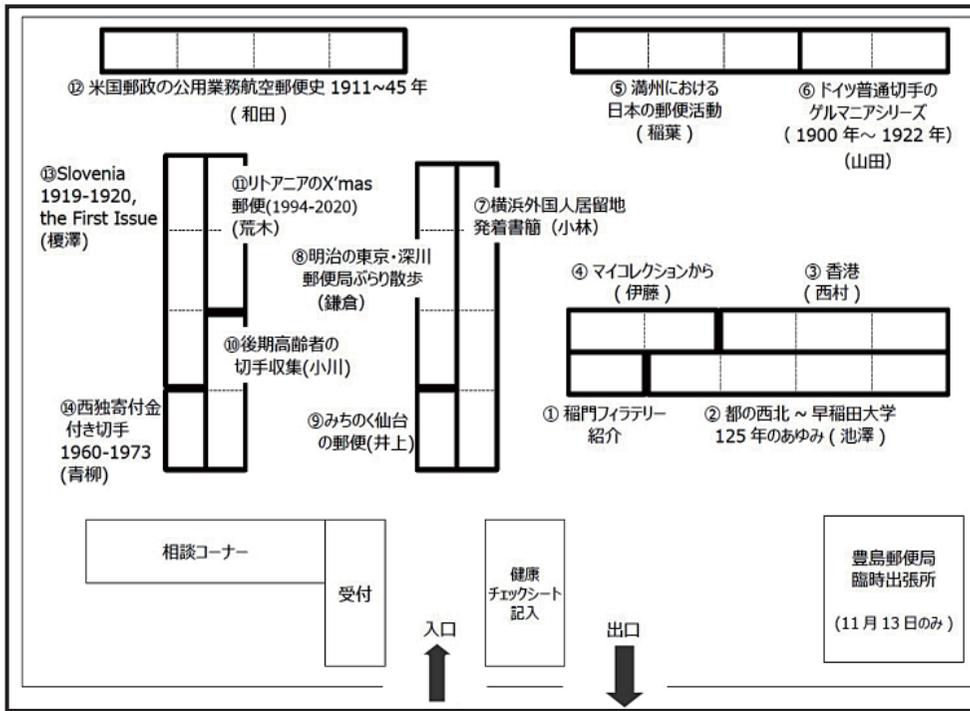
人生100歳時代と昨今良く言われています。今年、日本人の100歳以上人口は、86,510人、最高齢は118歳と先日、厚生労働省から発表されました。ずっと昔、この今の時代を見透かしたように、「人は摂生すれば125歳まで生きることができる」と言った人がおります。大隈重信がその人です。その大隈重信が創設した早稲田大学では、この数字125を大切にしています。私達稲門フィラテリーも、それにあやかり、この小型印で、1時25分(125)を指す時計をデザインしてみました。



会場の様子



会場：切手の博物館 3F
スペース 1・2





検温もしっかり



TBS ラジオの取材風景



小型印の押印



カバー類の販売